



一月一日に発生した石川県能登半島地震により、亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

令和6(2024)年スタート!

旧年中は大変お世話になりました。本年も本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

始業式では、まず子供たちに能登半島地震による災害の状況について説明するとともに、被災された方々へのお見舞いの気持ちを伝えました。災害は、いつ、どこで、どのように起こるか分からない、本当に恐ろしいものです。そのあとに、今年も夢や目標の実現に向けて一歩一歩たくましく頑張っていこうと呼び掛けました。その際、明るい話題として日本の宇宙開発についての話をしました。話の内容は、日本の無人探査機SLIMが今月20日の夜午前0時から月へ着陸しようと挑戦中であること。日本はアメリカが中心となって進めている「アルテミス計画」に参加しており、あと5年ぐらいの内に日本人が初めて月面に降り立つ計画があること。月面探査車を日本の自動車メーカーが中心となって開発していることについてです。JAXAにとって月面着陸は夢であろうかと思えます。児童の皆さんも自分の夢の実現に向けて、今年も大いに活躍していくことを願っています。

話の最後には、新年度の始まりである4月に向けて、しっかり「準備」を始めるように話しました。特に6年生が「有終の美」を飾れるよう、在校生と教職員一同でバックアップをしていきたいと思えます。

「野球しようぜ」大谷翔平選手からグローブ届く! 1/12

子供たちだけでなく私たち教職員も待ちに待っていた大谷選手からのグローブのプレゼントが、1月12日金曜日の午後に届きました。大谷選手はじめ関係者の皆様に心より感謝申し上げます。当日は、町教育委員会から午後にグローブが届かれるとの連絡が入り、まずはその旨をお昼の放送で子供たちに伝えました。すると各教室から学校中に響き渡るほどの歓声が上がりました。グローブは昇降口に展示したあと、6年生から順に使ってもらっています。

大谷選手の手紙には、「このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルであることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。」と書かれています。そして、最後に「野球しようぜ。」で締められています。

子供たちにも、大谷選手のように自分の夢の実現に向かって努力することを通して、自分の人生を充実させてほしいと願っています。

「OOしようぜ。」

学校関係者各位

貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムを紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平

グローブに添えられていた大谷選手からの手紙 ※掲載許可済み



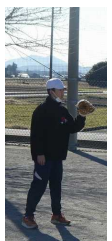
左利き用と右利き用の小と大



グローブの周りに集まる子供たち



6年生から順にキャッチボールで使用



お祭り用太鼓（長胴太鼓1台・締太鼓2台）1/10（水）西水沼自治会からの貸与

芳賀町では地域とともにある学校づくりに力をいれています。今回は町自治会連合会のお力添えをいただき、一般財団法人自治総合センターの助成を受けてお祭り用の太鼓を購入し、西水沼自治会からの貸与という形で太鼓が納品されました。

早速、昇降口前に設置し、子供たちに披露しました。また、子供たちが太鼓を自由に叩ける時間を設けたところ、子供たちは我先にと太鼓の周りに集まり、叩きはじめました。日が経つにつれ、徐々にお囃子のようなリズムカルな音色が響き渡るようになりました。来年度は伝統芸能の継承のための場を設けたいと思っています。その際は保護者をはじめ地域の皆様の御協力をいただけると幸いです。



楽しそうに太鼓を叩く子供たち

「中学入学へ向けての心構え」SC講話 1/15（月）

6年生を対象に「中学入学へ向けての心構え」と題して、芳賀中学校のSC（スクールカウンセラー）による講話を行いました。講話では、小学校と中学校の違いについて、特に学習面や生活面、部活動などについて丁寧な説明がありました。また、環境が変わったことによりストレスを感じることは人として自然な反応であること、そして、ストレスを感じたときの相談先や自分でできる心のケアの仕方などについて学びました。子供たちには学校という集団生活の中で、様々な苦勞があるかと思いますが、それらを乗り越え、明るく、たくましく育っていくことを願っています。



SCの話を熱心に聞く6年生

はがまるふるさと大学 1/18（木）23（火）4年生、12/19（火）3年生

町主催の「はがまるふるさと大学事業」を活用し、4年生の総合の単元「自分を見つめて」の充実に向けて、役場職員による出前授業を行いました。役場の7課計8名の方々に御来校いただき、「役場職員を目指した理由」や「仕事のやりがい」、「仕事の内容」などについてお話をいただきました。子供たちは熱心に話を聞いたり、質問したりと、教科書では学べない大変有意義な時間となりました。



4年生 建設課 手塚さん(本校卒業生)



3年生 農政課 長谷川さん

また、先月には3年生の総合の単元「レッツゴー芳賀町たんけんたい」において、2課3名の方々からLRTや町の特産品に関するお話をいただきました。

今後も学習内容の充実に向けて、外部講師（ゲストティーチャー）による授業を企画していきたいと思ひます。

第77回芳賀地区理科研究展覧会並びに発表会 1/22（月）市貝町町民センター

発表の部に芳賀町3小学校の代表として6年生5名（〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、佐藤蒼空さん）が参加しました。「変わった紙飛行機の研究」をテーマとし、羽ばたきながら飛行する紙飛行機の謎に迫りました。子供たちは、本校元職員の中川先生や那花教諭、菊島教諭のサポートを受けながら、夏休みから半年間にわたり研究に打ち込みました。発表会では自作の紙飛行機を見事に羽ばたかせ、会場から感嘆の声が上がりました。見事県発表



小学校展示の部



見事に羽ばたかせることに成功

会出場に輝きました。県発表会は2/15(木)栃木県総合教育センターで行われます。詳しくは次号で紹介しします。

表彰

- ☆第9回茂木町学童野球交流大会(11/22) 優勝 芳賀ネクサス(町3小学校の合同チーム)
- ☆第16回益子町バレーボール協会長杯(1/8) 優勝 芳賀南バレーボールクラブ
- ☆第75回書初展芳賀地区展(1/18) 優良賞 3年 〇〇〇〇 4年 〇〇〇〇 5年 〇〇〇 努力賞18点
- ☆第77回芳賀地区理科研究展覧会並びに発表会(1/19~22)



- 展示の部 優良賞「しゃぼん玉のひみつみつけたよパート2」3年 〇〇〇〇、「クワガタが夏をすずしくすごすための温度ちょうさ」4年 〇〇〇〇、「最強のシャボン玉を作ろう！」4年 〇〇〇〇 努力賞5点
- 発表の部 優秀賞(県出)「変わった紙飛行機の研究」6年 〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇

保護者・地域の方との協働コーナー (1月)

- ◆12月26日(火)：西高橋の阿久津さんから手作りのペン立てを8ついただきました。
- ◆1月12日(金)：避難訓練(休み時間に大地震、そして火災発生を想定)芳賀分署の協力・指導 J Aはが野から給食にいちごのプレゼント、PTA広報委員会(広報紙の作成)
- ◆1月16日(火)：お掃除補助 「みなみの会にじ」の皆さん
- ◆18日(木)：はがまるふるさと大学事業(出前授業4年生)芳賀町役場職員
- ◆18日(木)：薬物乱用防止教室 5年生 横浜税関宇都宮出張所審査官
- ◆30日(火)：読み聞かせ ボランティアの皆さん



今年度5回目の避難訓練